

# 大牟田市観光基本計画 概要版

## 1. 観光基本計画の概要

### <計画の期間>

R 4 年度から R 8 年度

### <計画の構成>

1. 観光基本計画の概要
2. 本市における観光の現状
3. 本市における観光振興の目指す方向と基本方針
4. 重点施策と主な事業
5. 計画の推進体制



©2016 大牟田市  
公式キャラクター「ジャーク」

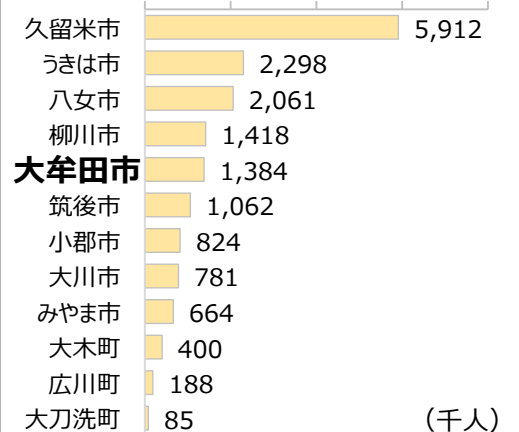
## 2. 本市における観光の現状

### <現状の整理及び観光振興に向けた課題や方向性等>

- 観光消費額は、集客規模が同程度の周辺市に比べ必ずしも高くない
- 世界遺産関連施設への観光入込客数は減少傾向、世界遺産の価値に対する本市民の理解は4割程度
- 大牟田市動物園への来訪者は毎年約20万人に上るが、施設・設備面の老朽化や利便性向上等の課題がある
- おおむた「大蛇山」まつりは大きな集客力があるが、天候等による影響も大きく、直近2年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催されていない
- 「資源の見つめなおし」、「観光資源と飲食など多様な資源の連携」、「世代や分野を超えた連携」等が重要
- 単なる地域資源への誘客にとどまらず、飲食等との連携を図り、付加価値を高めていく取組や、市内回遊や消費拡大の方策も必要
- 近隣市町への来訪者をターゲットとしたプロモーション、近隣市町との連携等が重要

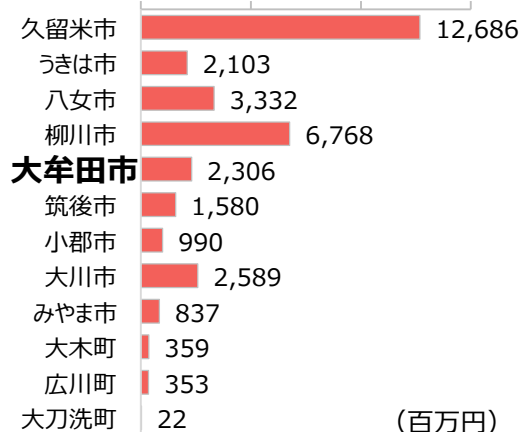
### 【観光入込客数の比較】

0 2,000 4,000 6,000 8,000



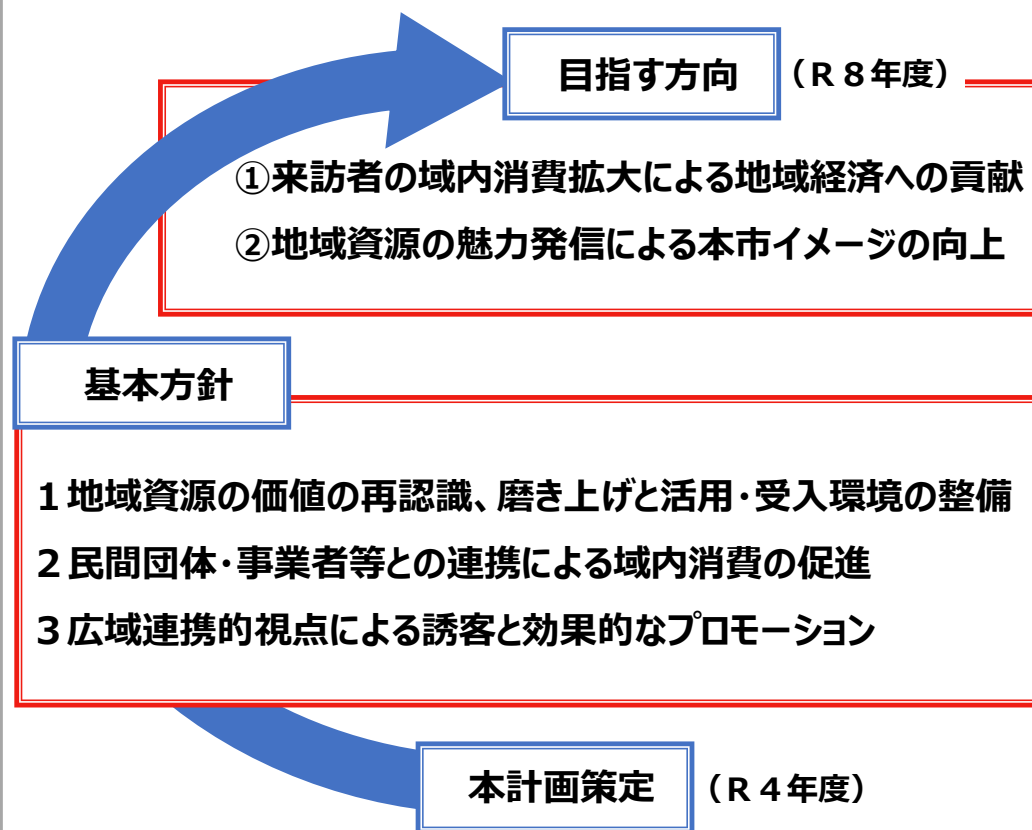
### 【観光消費額の比較】

0 5,000 10,000 15,000



出所：福岡県観光入込客推計調査（平成29年）

## 3. 本市における観光振興の目指す方向と基本方針



## 4. 重点施策と主な事業 <今後5年で注力する施策>

### 【基本方針 1】 KPI 【主要施設の入場者数】前年の実績値より年間2%の伸び 地域資源の価値の再認識、磨き上げと活用・受入環境の整備

#### 【施策①】地域資源の保全、活用

- （事業1）世界遺産関連施設の管理・活用
- （事業2）大牟田市動物園（ともだちや絵本美術館）の管理・活用
- （事業3）おおむた「大蛇山」まつりの活用
- （事業4）多様な地域資源の活用



（写真）おおむた「大蛇山」まつり

#### 【施策②】地域資源の魅力向上

- （事業1）体験プログラムの磨き上げ及び活用
- （事業2）回遊ルートの提案

#### 【施策③】受入体制の充実と市民参画の環境づくり

- （事業1）世界遺産（三池炭鉱関連）施設のガイダンス機能の見直し
- （事業2）ガイドの育成・仕組みの再構築
- （事業3）市民の参加推進と環境づくり



（写真）駛馬小学校こどもボランティアガイド

#### 【施策④】観光案内機能の充実

- （事業1）観光案内板や誘導サインの整備
- （事業2）交通事業者との連携

### 【基本方針 2】 KPI 【経済波及効果】測定方法検討、指標及び目標値の設定、運用 民間団体・事業者等との連携による域内消費の促進

#### 【施策①】域内消費拡大に向けたイベント等の支援

- （事業1）イベント等と連携した域内消費拡大事業
- （事業2）観光イベントへのプロモーション支援



新総合体育館 北東鳥瞰パース図

#### 【施策②】大牟田の「食」「土産品」の開発・販売支援

- （事業1）「食」「土産品」の開発及び磨き上げ
- （事業2）物産品等のプロモーション機会の提供



く〜うまか！おおむた認定ブランド

#### 【施策③】ナイトタイムエコノミーの推進

- （事業1）資源の夜間活用
- （事業2）飲食等を活用したイベント等の実施
- （事業3）宿泊施設の充実と宿泊客の呼び込み



（写真）夜の大牟田市動物園

#### 【施策④】誘客及び域内回遊施策の実施

- （事業1）誘客及び域内回遊事業



### 【基本方針 3】 KPI 新規ホームページの立ち上げ、指標及び目標値の決定 広域連携的視点による誘客と効果的なプロモーション

#### 【施策①】有明圏域定住自立圏等、広域の枠組みの連携強化による誘客

- （事業1）有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会での取組
- （事業2）多様な広域の枠組みによる取組
- （事業3）広域の枠組みを活用した情報発信と誘客

#### 【施策②】目的や誘客層に合わせた戦略的な情報発信の推進

- （事業1）ターゲットの絞り込みと志向に応じた情報発信の強化
- （事業2）ホームページの充実やターゲットに応じたSNS等を活用した情報発信

## 5. 計画の推進体制

行政、市民、関係団体、事業者等は互いに情報共有や連携を図りながら目的、目標に向かって自主的、主体的に取り組んでいくことが必要であり、そうした取組を補完するものとして以下の機能を新設。

### 計画に係る様々な人、事業者、組織間を「つなぐ」 （情報共有、連携等）の支援機能（コーディネーター）

- ・ 市内外の観光や飲食業等にネットワークや見識を持つような人材（コーディネーター）の配置。観光関連団体、部署（事業所）の経験者（OBも含む）等を想定
- ・ 新たなホームページの運用に係る情報収集及び、様々な団体、事業所（店舗等）間のやり取りも想定

### 計画の進捗状況を確認する機能（会議体）

- ・ 観光基本計画策定委員会のメンバーを基に、実務的なメンバーで構成する。本計画の進捗状況等を確認する役割の会議体
- ・ 本計画の策定（Plan）⇒ 各施策・事業等の実施（Do）⇒ 進捗状況の確認、評価等（Check）⇒ 改善、見直し等（Action）を行う